

「はじめに」に込められた 会議参加者の思い

よさのみらい会議提案書の冒頭には、対話を通じて共有・共感された気づきや、10年後にありたいまちの姿など、参加された皆さんからのメッセージがこぼれられています。

「このままでいいのだからか」から始まった対話

参加者の皆さんが最初に向き合われたのは、まちが直面している現実でした。若者の流出、人口減少と高齢化、老朽化が進む公共施設。「何もしなければ、暮らしにくいまちになってしまいかもしれない」。そんな率直な不安を共有するところから、よさのみらい会議は始まったと回想されています。

「どうせ誰かがやってくれる」という他人ごとから「まず自分たちが動こう」という自分ごとへ

人口が減り、町の財政が厳しさを増す未来において、暮らしは行政サービスだけで支えられるものではない。よさのみ

らい会議での議論を通じて共有されたのは、一人ひとりの主体的な行動と、互いの状況を理解し寄り添う「共助」の仕組みを再構築していく必要性でした。こうして対話を重ねる中で、当初抱いていた漠然とした不安は、「こうすれば良くなるのではないか」という具体的な提案へと変化していった様子が記されています。

参加者の皆さんが描く
10年後のまち

参加者の皆さんが描いた10年後の姿は、単に行政機能が維持されているだけのまちではありません。世代や立場、障がいの有無や国籍を超え、誰もが「オープン」に参加し、安心して自分らしく暮らせる、居心地の良いまちです。

よさのみらい会議から 山添町長に提案書が提出されました

1月20日、岩滝保健センターにおいて、「よさのみらい会議提案書手交式」を開催しました。よさのみらい会議提案書について説明があった後、参加者から町長に提案書が提出され、よさのみらい会議を振り返りながら

意見交換が行われました。町長は、よさのみらい会議参加への感謝とともに、「まちづくりを自分ごととし、当事者意識をもって取り組んでいこう」という提案は、住民・地域・行政がともにまちづくりを進めると



上/町長に提案書を手渡すよさのみらい会議に参加した方々
右/提案書を手渡したのち、町長と意見交換をする参加者の方々

この提案書が未来に向けた「はじめの一步」となり、第3次与謝野町総合計画に生かされることで、未来をもっと創る力となることを信じている。そんな強い決意の言葉で締めくくられています。

議論から見えた 与謝野町の 「強み」と「課題」

まちの良いところや
今後生かしていきたい
ところ（強み）

- ① 受け継がれてきた歴史・文化と産業
- ② 豊かな自然と食の恵み
- ③ 人のつながりの深さと共助の精神

今のまちに足りないところ
や改善したいところ
（弱み・課題）

- ① 産業・雇用の停滞と魅力不足
- ② 生活インフラと公共施設の課題
- ③ 協調性を重んじる風土、居場所の不足、多様性に対する理解の遅れ
- ④ 情報発信とデジタル化の遅れ
- ⑤ 降雪・積雪による影響

あなたの声が、 与謝野の 未来をつくる

いう源になる」と述べ、第3次与謝野町総合計画への反映や、これからのまちづくりに生かしていくことを約束しました。

現在、よさのみらい会議からの提案のほか、住民アンケートや団体ヒアリングなどを踏まえ、第3次与謝野町総合計画の基本構想（まちづくり方針）づくりが進んでいます。

みなでつくる総合計画の取り組みは、令和8年度も続いていきます。10年後の与謝野町をどう描くか。ぜひ、みなと一緒に与謝野町の未来を考えましょう。

よさのみらい会議の提案書は町ホームページに公開しているほか、企画財政課（本庁舎）でもご覧いただけます。



町ホームページ

よさのみらい会議からの提案

「強みを最大限に生かし、課題を克服するために」

しごとづくり分科会

「ここで働きたい」と思えるまちへ

- ① 「与謝野町に魅力的な仕事はないだろう」は思い込み？ 魅力を見える化して、みんなで共有しよう
- ② 「ここで働きたい！」と思われる会社へ。柔軟な労働環境、ホワイトで自由な職場づくり
- ③ ちりめんは「着物」だけじゃない！ 伝統×新アイデアで、稼げる地場産業へ
- ④ 「出る杭」は打たずに伸ばす！ 挑戦する人を全力で応援・サポートするまちに
- ⑤ 「ここで働き暮らしたい！」と若者に選ばれるまちへ

くらしづくり分科会

安全・安心に暮らし続けられるまちへ

- ① 「役場に行かなくてもOK？」地域の拠点で、もっと身近で便利な行政へ
- ② 車がなくても大丈夫！ 最新技術と「お互いさま」の助け合いで安心して暮らし続けられるまちに
- ③ 空き家は「困った」じゃなくて「宝」かも？ 情報の「見える化」でチャンスに変えよう
- ④ 次世代が定着し、健やかに育つ魅力あるまちへ！ 若者・子どものための環境づくり

ひとづくり分科会

誰でも受け入れられるオープンなまちへ

- ① 「思ったことをちゃんと伝える」寄り添いの心を育むまちへ
- ② 「当事者の声」を聞きたい。リアルな体験で、心のバリアフリーを実現しよう
- ③ 「用事がなくても、行っていい？」誰もがふらっと立ち寄れる「たまり場」をつくろう
- ④ 「先生はなんと小学生!?」みんなの得意が広がるコミュニティ
- ⑤ 「私にもできること、きっとある！」全員活躍のまちづくり

中高生よさのみらい会議

「行きたい」「働きたい」「暮らしたい」まちへ

- ① 「知られていない」を「行きたい！」へ。世界に誇れる与謝野ブランドづくり
- ② ワクワクが集まる！ みんなが笑顔になれる遊びと交流の拠点
- ③ どこへでも自由に行ける！ 快適でスムーズな移動手段
- ④ 学校でも家でもない、「サードプレイス」でつながろう！
- ⑤ 「ここで働きたい」が見つかる！ 未来の選択肢を広げる
- ⑥ 「行きたい」を諦めない！ もっと自由な移動スタイル